

FD NEWSLETTER



CONTENTS

- FDとPDCA
 - 前教育・研究担当副学長
総合教育研究部教授
桑田 禮彰
- 2019 年度「学生による授業アンケート」
(後期)集計結果
- 教育の環境整備について
総合教育研究部講師
出井 章雅
- 学生が選ぶベスト・ティーチング賞
授賞式
- 令和元年度第3回FD研修会報告
 - 令和元年度「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者による実践事例紹介

FDとPDCA

前教育・研究担当副学長
総合教育研究部教授
桑田 禮彰

本学最初の「自己点検・評価報告書」が作成されたのは、いまから四半世紀前、奈良康明学長時代でした。「脚下照顧」という命名は、奈良学長によります。作業は、本学の自己点検・評価体制構築のための規程作りから始まりました。奈良学長の指示で、その規程案作りの準備委員会が組織され、委員長である雨宮眞也副学長のもと、私が副委員長を務め、本学の自己点検・評価が始動しはじめました。

直接の発端は、1991（平成3）年の文部省の「大学設置基準の改正」いわゆる「大綱化」です。近い将来の「18歳人口の激減」を見据え、大学間競争に生き残るために、全国の大学で、自己点検・評価を含む「改革」が始まったわけです。本学はその先陣を切ったとは言わないまでも、それほど遅れをとったわけではありません。

この全国規模の大学改革のうねりの中で、人口に膾炙するようになったのが、「PDCA」（Plan 計画・Do 実行・Check 検証・Act/Action 改善）という表現です。もともとは企業経営の問題対応の基本サイクルを表わしたものが、大学運営においても使われるようになりました。いざ点検を始めてみると、実際に大学の計画力・実行力・検証力・改善力の脆弱さが改革現場で露呈したことで、「大学の企業化」を危惧する声は弱まり、PDCA という考え方は、着実に改革現場に広がっていったと思われまます。

しかし重要なのは、PDCA の考え方が、大学運営にとどまらず、大学教育・研究へと浸透したことです。一人一人の学生に学習計画を立てさせ、実行へと導き、その結果を検証させて、学習を改善させるという丁寧な教育が行われるようになり、「小学生じゃあるまいし」といった学生を突き放す姿勢は、過去のものになりました。そして教員自身が、計画力・実行力・検証力・改善力を磨き、大きな研究成果を挙げつつあります。

FD が養成を目指す学生の基礎力とは、根本的には知的な問題対応能力のことであり、PDCA はそれを分析的に具体化したもので「授業外学習(P・C)」「授業内積極性(D)」「成長実感(A)」といったものもその基礎能力の養成から派生するように思えます。

本学でも PDCA の考え方が、もちろんそれ自体批判的に検証されながら、さらに展開されることを期待します。

2019 年度「学生による授業アンケート」 (後期)の集計結果について

2019 年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。

実施期間 令和元年 11 月 4 日(月)～11 月 23 日(土)

対象科目数 1,934 科目

対象者数 128,450 人(延べ人数)

有効回答数 49,662 件(38.7%)

※履修登録者 20 名未満の科目は集計から除外している

【質問項目】

Q1. どのような理由でこの授業を履修しましたか。(複数選択可)

- ・シラバスを見て授業内容に興味を持った
- ・シラバス以外の情報(友人等)により、授業内容に興味を持った
- ・履修モデル(コース制等)を見て決めた
- ・資格の取得
- ・必修科目または選択科目だったから
- ・時間割(曜日時限)を考慮して決めた
- ・その他

Q2. この授業の予習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

Q3. この授業の復習に当てている時間は 1 週間に何時間くらいですか。

(Q2・3 選択肢)

- 5: 3 時間以上
- 4: 2 時間以上～3 時間未満
- 3: 1 時間以上～2 時間未満
- 2: 1 時間未満
- 1: 全くしていない

Q4. あなたは授業に熱心に取り組んでいますか。

(Q4 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q5. この授業を何回欠席しましたか。

- 5: 0 回
- 4: 1～2(半期科目)、1～4(通年科目) 回
- 3: 3～4(半期科目)、5～9(通年科目) 回
- 2: 5～6(半期科目)、10～13(通年科目) 回
- 1: 7(半期科目)、14(通年科目) 回以上

Q6. 授業はほぼ定刻通りに実施されていますか。

Q7. 通常通り、授業回数は確保されていますか。(補講・YeStudy 等による課題授業含む)

Q8. 授業にはおおむねシラバスの内容が反映されていますか。

Q9. この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。

(Q6～9 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q10. 教科書・配布資料等は授業内容を理解する上で効果的ですか。

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない
- 1: そう思わない
- 0: 教科書・配布資料等がない授業

Q11. 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられますか。

Q12. 教員の話し方・ボリュームは聞き取りやすいですか。

(Q11・12 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q13. 板書や投影されたスクリーンの文字・図表等は見やすいですか。

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない
- 1: そう思わない
- 0: 板書・スクリーンの投影がない授業

Q14. 教員は授業内容に沿った授業環境・雰囲気づくりに配慮していますか。

(Q14 の選択肢は Q18 の後に記載)

Q15. 教員はあなたの意見や質問に対して適切に対応していますか。

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: ややそう思わない
- 1: そう思わない
- 0: あなたが当該授業において意見・質問をしたことがない場合

Q16. この科目の授業内容についてよく理解できていますか。

Q17. 授業内容に興味を持っていますか。

Q18. あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか。

(Q4・6～9・11・12・14・16～18 選択肢)

- 5: そう思う
- 4: ややそう思う

- 3：どちらとも言えない
- 2：ややそう思わない
- 1：そう思わない
- Q19. 教員自由設定質問（選択）
- Q20. 教員自由設定設問（記述）
- Q21. この授業のよかった点を具体的に記入してください。
- Q22. この授業の改善してほしい点を具体的に記入してください。
- Q23. 所属学部学科等
 仏教、国文、英米文、地理、日本史学、外国史学、考古学
 社会学、社会福祉学、心理、経済、商、現代応用経済

- 法律 A、法律 B、政治、経営、市場戦略
 診療放射線技術科、グローバル・メディア
- Q24. 学年
 4年・3年・2年・1年・その他
- Q25. どのような入学試験を受け、あなたは本学に入学しましたか。
 一般入試、大学入試センター試験利用入試、一般推薦入試
 ・自己推薦入試、スポーツ推薦入試、指定校推薦
 附属校推薦入試、留学生特別入試、帰国生特別入試
 編入学試験、その他の試験、回答しない

【学年別平均値】

表 1 はアンケート質問項目（Q2～18）の学年別平均値を示したものである。

表 1 学年別の平均値

学年別	1年	2年	3年	4年	その他
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.8	1.5
Q3 平均値	1.6	1.7	1.7	1.9	1.3
Q4 平均値	4.0	4.0	3.9	3.9	4.5
Q5 平均値	4.4	4.4	4.2	3.9	4.7
Q6 平均値	4.6	4.7	4.6	4.7	5.0
Q7 平均値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8
Q9 平均値	4.3	4.4	4.3	4.4	4.8
Q10 平均値	4.4	4.4	4.3	4.5	4.7
Q11 平均値	4.5	4.6	4.6	4.6	4.8
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	5.0
Q13 平均値	4.2	4.3	4.2	4.4	4.8
Q14 平均値	4.4	4.5	4.5	4.5	5.0
Q15 平均値	4.5	4.5	4.5	4.6	5.0
Q16 平均値	4.1	4.1	4.0	4.2	4.7
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	4.3	4.5
Q18 平均値	4.0	4.1	4.0	4.1	4.7
有効回答数	20,447	15,588	8,725	2,585	6

【入試形態との関連】

2010 年度より、入試形態と学生の授業への取り組み（出席状況、予習・復習時間など）との関連を把握するために入学試験タイプの質問を追加している（Q25）。なお回答は任意とした。（表 2 入学形態別の項目別平均値）

表 2 入試形態別の項目別平均値（Q2～18）

入試形態別	一般入試	大学入試センター試験 利用入試	一般推薦入試・ 自己推薦入試	スポーツ推薦入試	指定校推薦	附属校推薦入試	留学生特別入試	帰国生特別入試	編入学試験	その他	回答しない
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.8	1.6	1.5	2.3	2.1	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	2.4	2.1	1.8	1.7	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	3.9	4.4	3.9	4.1	4.1	3.8
Q5 平均値	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.6	4.4	4.0	4.2	4.5	4.4
Q6 平均値	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.8	4.5
Q8 平均値	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.5	4.8	4.7	4.7	4.7	4.4
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.6	4.4	4.5	4.4	4.0
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.6	4.4	4.6	4.4	4.0
Q11 平均値	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.3
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.7	4.5	4.6	4.6	4.2
Q13 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.7	4.5	4.5	4.4	4.0
Q14 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.7	4.5	4.5	4.5	4.1
Q15 平均値	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.3	4.8	4.7	4.6	4.6	4.2
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	4.5	4.2	4.2	4.1	3.7
Q17 平均値	4.1	4.1	4.2	4.2	4.0	4.0	4.5	4.2	4.3	4.1	3.7
Q18 平均値	4.1	4.0	4.1	4.2	3.9	3.9	4.5	4.2	4.1	4.0	3.7
有効回答数	25,013	3,525	4,323	1,315	6,204	3,531	869	90	752	332	1,397

【学部学科・専攻・部門別集計結果】

授業担当者の所属別に、専任教員と非常勤教員を分けて集計をした。 ※法科大学院、国際センターは除外

表 3 教員所属の学科・専攻・部門別平均値 (Q2~18) ※「-」はアンケート集計対象科目なし

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(仏教) 禅			(仏教) 仏教			(文) 国文		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.6	1.6	2.0	1.5	1.5	1.6	1.8	2.1	1.7
Q3 平均値	1.6	1.6	1.9	1.6	1.6	1.7	1.9	2.2	1.8
Q4 平均値	3.7	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9
Q5 平均値	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2
Q6 平均値	4.4	4.3	4.8	4.5	4.5	4.8	4.8	4.7	4.8
Q7 平均値	4.6	4.6	4.8	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9
Q8 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8
Q9 平均値	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.4	4.5	4.6	4.5
Q10 平均値	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6	4.7	4.6
Q11 平均値	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.8	4.8	4.8
Q12 平均値	4.5	4.5	4.7	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.8
Q13 平均値	4.2	4.1	4.6	4.2	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5
Q14 平均値	4.4	4.3	4.6	4.3	4.3	4.4	4.7	4.7	4.7
Q15 平均値	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.7	4.7	4.7
Q16 平均値	3.9	3.9	4.2	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1
Q17 平均値	3.8	3.8	4.1	3.9	3.9	4.2	4.3	4.3	4.3
Q18 平均値	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	1,276			2,068			1,248		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(文) 英米文			(文) 地域文化			(文) 地域環境		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.9	1.9	1.9	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.9	1.6	1.6	1.7	1.5
Q4 平均値	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.0	4.0	4.1	3.7
Q5 平均値	4.2	4.2	4.2	4.4	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5
Q6 平均値	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	4.7
Q7 平均値	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6
Q9 平均値	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.2
Q11 平均値	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6
Q12 平均値	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6
Q13 平均値	4.5	4.6	4.4	4.5	4.3	4.6	4.4	4.5	4.2
Q14 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q15 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6
Q16 平均値	4.3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	3.9
Q17 平均値	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2
Q18 平均値	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	1,257			671			798		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 日本史学			(文) 外国史学			(文) 考古学		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.7	1.5	1.4	1.5
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7
Q4 平均値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	4.0	4.1
Q5 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値	4.5	4.2	4.8	4.6	4.4	4.8	4.5	4.3	4.8
Q7 平均値	4.6	4.5	4.8	4.8	4.6	4.9	4.6	4.5	4.7
Q8 平均値	4.6	4.4	4.7	4.7	4.5	4.7	4.6	4.5	4.6
Q9 平均値	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.4	4.3	4.5
Q10 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.5	4.5	4.4	4.5
Q11 平均値	4.6	4.5	4.7	4.6	4.5	4.7	4.6	4.5	4.7
Q12 平均値	4.4	4.2	4.6	4.5	4.3	4.7	4.3	4.0	4.7
Q13 平均値	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.5
Q14 平均値	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値	4.0	4.0	4.1	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0	4.1
Q17 平均値	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.4
Q18 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	1,254			779			338		

(学部)学科・専攻・部門	(文) 社会学			(文) 社会福祉学			(文) 心理		
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任
Q2 平均値	1.4	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.5	1.6	1.4
Q3 平均値	1.6	1.7	1.5	1.4	1.3	1.4	1.6	1.8	1.6
Q4 平均値	4.1	3.9	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4
Q6 平均値	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8
Q8 平均値	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値	4.0	4.5	3.9	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4
Q10 平均値	4.2	4.2	4.2	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.4	4.4	4.4	4.6	4.8	4.5	4.6	4.6	4.6
Q12 平均値	4.0	4.2	4.0	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
Q13 平均値	3.9	4.2	3.9	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4
Q14 平均値	4.1	4.2	4.1	4.5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.5
Q15 平均値	4.1	4.2	4.1	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6
Q16 平均値	3.8	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1
Q17 平均値	3.9	4.1	3.8	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
Q18 平均値	3.8	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0
有効回答数	564			807			2,151		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(経済) 経済			(経済) 商			(経済) 現代応用経済		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.4
Q3 平均値	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.6	1.8	1.9	1.6
Q4 平均値	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9
Q5 平均値	4.4	4.5	4.3	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4
Q6 平均値	4.6	4.5	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q7 平均値	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
Q8 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5
Q9 平均値	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
Q10 平均値	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4
Q11 平均値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5
Q12 平均値	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.5	4.6	4.4
Q13 平均値	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.1
Q14 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.4
Q15 平均値	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
Q16 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
Q17 平均値	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1
Q18 平均値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
有効回答数	2,852			1,723			1,087		

(学部)学科・専攻・部門 専任・非常勤区分	(法) 法律			(法) 政治			(経営) 経営		
	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値	1.8	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8
Q4 平均値	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
Q5 平均値	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
Q7 平均値	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7
Q8 平均値	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6
Q9 平均値	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
Q10 平均値	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3
Q11 平均値	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.4	4.4	4.4	4.4
Q12 平均値	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.5
Q13 平均値	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.3
Q14 平均値	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4
Q15 平均値	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5
Q16 平均値	3.8	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	4.0
Q17 平均値	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1
Q18 平均値	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	4.0	4.1
有効回答数	4,267			1,813			2,060		

(学部)学科・専攻・部門	(経営)市場戦略			(医療健康科)			(GMS)			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.2	1.8	1.6	2.0
Q3 平均値		1.7	1.7	1.8	1.7	1.8	1.4	1.8	1.7	2.0
Q4 平均値		3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	3.8	4.0	4.0	4.1
Q5 平均値		4.3	4.4	4.3	4.8	4.8	4.8	4.4	4.4	4.3
Q6 平均値		4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.9	4.7	4.7	4.8
Q7 平均値		4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値		4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値		4.2	4.2	4.2	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.4
Q10 平均値		4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4
Q11 平均値		4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.5	4.5	4.6
Q12 平均値		4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.8	4.5	4.5	4.7
Q13 平均値		4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.6
Q14 平均値		4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.6
Q15 平均値		4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.5	4.7
Q16 平均値		4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.3
Q17 平均値		4.1	4.0	4.1	4.3	4.3	4.1	4.2	4.1	4.2
Q18 平均値		4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.2
有効回答数		1,457			775			1,473		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究)文化学			(総合教育研究)自然科学			(総合教育研究)日本文化			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6
Q3 平均値		1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5
Q4 平均値		3.8	3.8	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.2
Q5 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.4
Q6 平均値		4.6	4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q7 平均値		4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
Q8 平均値		4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
Q9 平均値		4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.2	4.6	4.6	4.6
Q10 平均値		4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.6	4.5	4.7
Q11 平均値		4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.8	4.7	4.8
Q12 平均値		4.4	4.5	4.4	4.5	4.6	4.3	4.7	4.7	4.6
Q13 平均値		4.1	4.3	4.1	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.5
Q14 平均値		4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.7
Q15 平均値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.6
Q16 平均値		3.9	4.0	3.9	4.1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.4
Q17 平均値		4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.1	4.4	4.3	4.5
Q18 平均値		3.9	3.9	3.9	4.1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2
有効回答数		3,291			2,171			964		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 外国語第一			(総合教育研究) 外国語第二			(総合教育研究) スポーツ・健康科学			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.9	1.9	1.9	1.9	1.7	2.0	1.4	1.4	1.3
Q3 平均値		1.8	1.7	1.8	2.0	1.9	2.1	1.4	1.4	1.3
Q4 平均値		4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.5	4.5	4.4
Q5 平均値		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
Q6 平均値		4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.4
Q7 平均値		4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6
Q8 平均値		4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6
Q9 平均値		4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.7	4.7	4.5
Q10 平均値		4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6
Q11 平均値		4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.5
Q12 平均値		4.6	4.5	4.6	4.7	4.8	4.6	4.8	4.8	4.6
Q13 平均値		4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.4
Q14 平均値		4.5	4.4	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5
Q15 平均値		4.5	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.5
Q16 平均値		4.3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.2	4.7	4.7	4.5
Q17 平均値		4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.3	4.6	4.7	4.5
Q18 平均値		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.6	4.6	4.4
有効回答数		5,686			1,960			1,287		

(学部)学科・専攻・部門	(総合教育研究) 教職課程			
	専任・非常勤区分	全体	専任	非常勤
Q2 平均値		1.4	1.5	1.4
Q3 平均値		1.5	1.6	1.5
Q4 平均値		4.1	4.2	4.1
Q5 平均値		4.5	4.5	4.5
Q6 平均値		4.8	4.8	4.8
Q7 平均値		4.9	4.9	4.8
Q8 平均値		4.8	4.8	4.8
Q9 平均値		4.5	4.5	4.5
Q10 平均値		4.6	4.6	4.6
Q11 平均値		4.7	4.7	4.7
Q12 平均値		4.7	4.6	4.7
Q13 平均値		4.4	4.5	4.3
Q14 平均値		4.6	4.6	4.6
Q15 平均値		4.7	4.8	4.6
Q16 平均値		4.3	4.3	4.4
Q17 平均値		4.3	4.3	4.3
Q18 平均値		4.3	4.3	4.2
有効回答数		1,073		

2019 年度「学生による授業アンケート (後期)」 集計結果の概況について

2019 年度「学生による授業アンケート」(後期)は 11 月 4 日(月)から 11 月 23 日(土)の期間に Web 回答方式で実施された。実施方法については、2019 年度前期から対象科目が拡大されたが(除外科目:履修登録者 20 名未満→10 名未満)、後期もひきつづき前期と同じ条件での実施である。質問項目は前年度後期以降、変更はない。

今回の対象科目は、専任・非常勤合計で 1,934 科目、対象学生数(延べ人数)は 128,450 名、有効回答数は 49,662 件、回答率は 38.7%であった。

まず、全般的傾向について概況を述べていく。後期アンケートの回答率は、前々回より後は小幅ではあるが漸増傾向にあり、今回についても、実施条件がやや異なるとはいえ前年度比 1.2 ポイント増となっている。学年別の回答率は、例年同様、学年が進むにつれて下がっているが、前年度の後期に比べると、やはり全学年で増加している。教員の専任・非常勤の別で見ると、従来の傾向どおり非常勤がやや高い。

フィードバックに関連して、教員のC-Learningへの最終ログイン状況（フィードバック期間）をみると、低下が目立った前年度同期から一転して、大幅に回復しているのが明るい話題である。専任・非常勤別では従来同様、こちらは専任教員のログイン率がかなり上回る。フィードバックの必要性の周知に注力すれば、さらなる伸びも期待できそうである。

つぎに、質問項目については、具体的な内容は別途記載のとおりである。学生の出席状況（Q5）は、例年は学年が進むにつれて悪くなるのに対し、今回は1年生4.4、2年生4.4、3年生4.2、4年生3.9であり、傾向に大差ないとはいえ、2年生の低下が見られないのが注目されよう。教員所属学部学科別では、医療健康科学部が4.8と高い結果となっている。入試形態別では、附属校推薦入試が4.6と最も高い。

授業がほぼ定刻どおりに実施されているか（Q6）については、文学部から国文、英米文、地域文化、地域環境、社会福祉学、さらに総合教育研究部から教職課程が、4.8と最も高い結果であった。

授業回数の確保（Q7）は全学部学科とも高い評価であったが、特に総合教育研究部の教職課程は4.9と、最も高い結果となっている。

教員の熱意・授業内容・運営等（Q8～Q18）については、4年生の数字が、回答数の少なさが影響するの若干高い傾向があるものの、今回は学年間の大きな差は見られなかった。

以上が、2019年度「学生による授業アンケート（後期）」の分析結果である。

現在、FD推進委員会小委員会では、授業アンケートの組織的活用や、実施方法の見直し（対象科目の一層の拡大、アンケート項目の整理と新設）について検討を進めている。どれも数年来の懸案であるが、学内から広くご意見を賜りながら今後とも作業に取り組んでいくことになる。

（FD推進委員会小委員会委員・三好俊介）



連載企画：よりよい教育のために

「教育の環境整備について」

総合教育研究部講師 出井 章雅

着任6年目を迎えました。私が所属するスポーツ・健康科学部門は学生を持たない学部学科である。よって出井ゼミはなく、現状は学生への研究論文指導や議論の場などの環境下ではない為、毎週実施の講義や体育実技が私にとって勝負の時間帯である。教育の中で心がけている事はとてもシンプルだが、いかに多くの学生とコミュニケーションを図るかということだ。体育実技科目は必然的にアクティブ・ラーニング形式の授業となる。競技のルールを理解し、全員で授業の雰囲気作りを行い、仲間作りを含めた横の繋がりをいかに広げられるかが重要であり、その為に教員サイドが創意工夫しながらより良い環境を設定すべきである。講義で心がけていることは、いかに学生の興味をひく授業展開が実施できるか。そしてもう一つが、「熱意」だ。例えば「健康・スポーツ論2」の受講にあたり何を知りたいか？また何に興味があるのか？について初回にアンケート調査を実施し、その事柄についての内容と事前にシラバスに記載している授業内容を関連づけて講義している。また、レポート課題に対して必ず翌週にフィードバックを行う。そうすることで自ずと学生も聞く耳を持ってきている。最初は単位欲しさに受講した学生が居たとしても授業終了までには満足して帰ってくれるのではないかと考える。その結果がBTA（学生が選ぶベスト・ティーチング賞）評価に繋がっているとすると非常に有難いことであり学生に感謝したい。

本学では1年次必修科目であった体育実技が選択科目に変更し（一部学科除く）、学生の運動離れ、健康管理意識の低下が懸念される。1年次こそ体育実技を通して仲間作りが必要であり、現在は選択科目に伴い駒沢⇔玉川キャンパス間のシャトルバス運行など新たな取り組みはされているものの玉川キャンパスの存在すら知らない状態で卒業を迎える学生が多いのではないかと。今から6年前まで駒沢キャンパスにも体育館（現：種月館）が存在し、多くの学生が体育実技を行い、また昼休みには教職員も体を動かすなどリフレッシュの場にもなっていた。そのような環境整備をもう一度検討し、大学全体がより良い教育の中で運動の価値を見出し理解されることを切に願う。

最後に、「勉強が苦手」「運動が嫌い」という学生がい

るならば、それは楽しいと思えるような環境に恵まれなかっただけであり、その役割を私が果たせればこれ以上の喜びはない。

■ 学生が選ぶベスト・ティーチング賞授賞式

令和元年度で、第4回を迎える「学生が選ぶベスト・ティーチング賞（以下、BTA）」は、学生の眼から見て、効果的な教育方法を実践している教員を表彰し、その教育方法を全学的に共有することで、駒澤大学全体の教育の質を向上させることを目的とした活動である。BTAは、学生FDスタッフとFD推進委員会に携わる教職員が協力して実施しているという点においても、注目すべきFD活動だといえる。さらに今年度は、学生FDスタッフからの提案により、「学生が主体的に学びたい」と感じた授業を表彰する「もっと学びたい de 賞部門」が新設された。このような進展は、学生と教職員との間で、BTAの目的が共有されつつあることの現れだろう。

12月16日に開催された授賞式では、FD推進委員会委員長である長谷部八朗学長から各受賞者に表彰状が授与され、学生スタッフからは花束が贈呈された。昼休み時間ということもあり、授賞式には、各受賞者の授業を履修している学生の姿も見受けられ、あたたかく和やかな場となった。

当日発表された各賞の詳細は、下記のとおりである。

【学生が選ぶベスト・ティーチング賞】

〈全学共通科目〉

- 「心理学」小野洋平先生（文学部・非常勤）
- 「文学」畠山寛先生（総合教育研究部・専任）
- 「日本の文化と社会」加藤之晴先生（総合教育研究部・非常勤）

〈専門教育科目〉

- 「刑法総論」富樫景子先生（法学部・専任）
- 「経営戦略論」中村公一先生（経営学部・専任）
- 「民法総則」熊谷芝青先生（法学部・専任）

【もっと学びたい de 賞部門】

〈全学共通科目〉

- 「ドイツ語 I A b」吉中俊貴先生（総合教育研究部・専任）

〈専門教育科目〉

- 「マーケティング論」兼村栄哲先生（経営学部・専任）

授賞式でも、各受賞者から教育実践についてのスピーチがあったが、令和元年度第3回FD研修会では、より詳しい実践報告が行われる。この研修会は、次年度のFD活動の足掛かりとして大きな意義を持つはずである。

最後に、今年度のBTAを通して浮上してきた課題について述べておきたい。学生FDスタッフの尽力により、BTAの広報に関しては軌道に乗ってきた。しかし、投票方法や集計方法には課題が残っており、多大な事務負担の上にBTAが成り立っているという現状がある。これは、早急に見直す必要がある。また、「ベスト・ティーチング」の捉え方は、学生それぞれで異なるものだ。学生ひとりひとりの眼、ひとりひとりの声が反映されるBTAを目指し、運営方法の再考もなされるべきだと思われる。

（FD推進委員会小委員会副委員長・内藤寿子）

■ 令和元年度 第3回FD研修会報告

「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」

受賞者による実践事例紹介

今年度第3回のFD研修会が、令和2年2月10日（月）午後4時より中央講堂において、世田谷プラットフォーム後援として開催された。今回は第4回「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」受賞者のうち、小野洋平先生（文学部）、中村公一先生（経営学部）、畠山寛先生（総合教育研究部）の3名に講師としてご登壇頂いた。

はじめに長谷部八朗学長より本学におけるFD活動及び本研修会の意義などについてお話し頂いたのち、第1部では、講師の先生方から授業での工夫や取り組みをそれぞれご講演頂いた。休憩をはさんで行われた第2部では、FD推進委員会小委員会委員長の佐々木真先生にも進行役としてご登壇頂き、フロアからの質問を交えたパネルディスカッションが行われた。

まず、第1部では、小野先生は大人数講義におけるアクティブ・ラーニングの導入をテーマとして、心理学という科目におけるeラーニング(YeStudy)を使った体験学習やリアクションペーパー（以下RP）の活用という、2つの事例を中心に授業での工夫をお話し頂いた。次に中村先生は、経営戦略論という科目について、学生の意識を変えること＝自信を持たせることを理念としており、具体的な授業設計においては専門性、関連性、実践性の3つの柱を立てていることなどが、実際の授業内容とともに紹介された。最後に畠山先生は、文学という科目の授業設計について「導入の問い」や「最後の問い」

において RP を活用することや、大人数講義においても RP の内容を 5、6 名にその場で発表させることなど、学生一人一人に思考させるための様々な工夫をご紹介頂いた。

第 2 部・パネルディスカッションでは、双方向性、学生資質のばらつきへの対応、授業準備にかかる時間などが話題となった。いずれの先生の授業でも、RP の活用等による学生との双方向性が重視されており、それによって学生の自主的な学びや自己肯定感の向上を意図した授業として学生から好評を得られたことが伺えた。しかしながら RP 等による学生との双方向交流は教員側の多大な労力を要するものであることも垣間見られた。最後に佐々木先生から、問題発見能力やいかに考えさせるかといったことが授業改善の鍵となっており、それは本質的には昔も今も変わっていないとの総評があって本会は締めくくられた。

今回のFD研修会を終えて私は次のようなことを考えた。すなわち、アクティブ・ラーニングやeラーニングといったものは方法論に過ぎず、教員にとって最も重要なのは学生一人一人と如何に向き合っていくかである。様々な方法の活用は、この課題の解決のために検討されるべきものなのであろう。

なお、本研修会の映像は本学FDホームページにアップロードされる予定とのことなので、是非ご覧下さい。

(FD推進委員会小委員会委員・大澤邦由)

令和 2 年度新規採用教員オリエンテーション 開催のお知らせ

新規採用の専任教員及び非常勤講師を対象にした「令和 2 年度新規採用教員オリエンテーション」を、令和 2 年 4 月 1 日（水）に本部棟中央講堂にて開催いたします。

オリエンテーションを開催する目的は、本学の建学の理念、教育目的を理解いただき、授業に臨んでいただくこと、本学の様々な施設や事務手続きをお知らせし、授業を円滑に進めていただきたいこと、そして実際の授業運営にあたって、個人情報保護やハラスメント防止に留意していただきたいこと等をお伝えすることにあります。

編集後記

『FD NEWSLETTER 第 62 号』をお届けします。

各先生方にお忙しい中、ご執筆いただきました。心より感謝申し上げます。

今年度中に本学におけるFD活動を再定義することや授業アンケート結果の組織的な活用方法について議論をしてきました。今後の授業改善を考える上で重要であると思います。FDの今までの活動に加え、今後はどんな活動が必要なのでしょうか。本学の教職員全体で考えていくべき問題だと思います。

その中でベスト・ティーチング賞について触れたいと思います。ここ数年の結果を見ていますと、賞を受賞する先生がやや固定されつつあります。その先生方は授業内容を充実させようと日々努力されていると思います。しかし名前が上がっていない先生でも創意工夫をし、学生のためになるような授業を展開されている先生も数多くいらっしゃると思います。また、内藤寿子先生は報告にもある通り、「ベスト・ティーチングの捉え方はそれぞれ異なるものだ」とおっしゃっておられます。今後、この賞に関してどのような基準を設けることが必要なのでしょうか。今後もFD活動にご協力の程、宜しく申し上げます。

(瀧本誠・三好俊介)

※駒澤大学FD (Faculty Development) ホームページは、以下 URL か QR コードからアクセスできます。

【URL】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/>



【タイトル横の写真は、第 3 回 FD 研修会の様子】

FD NEWSLETTER March 2020 第 62 号

発行日：2020 年 3 月 15 日

発行者：駒澤大学FD推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel 03-3418-9444 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)